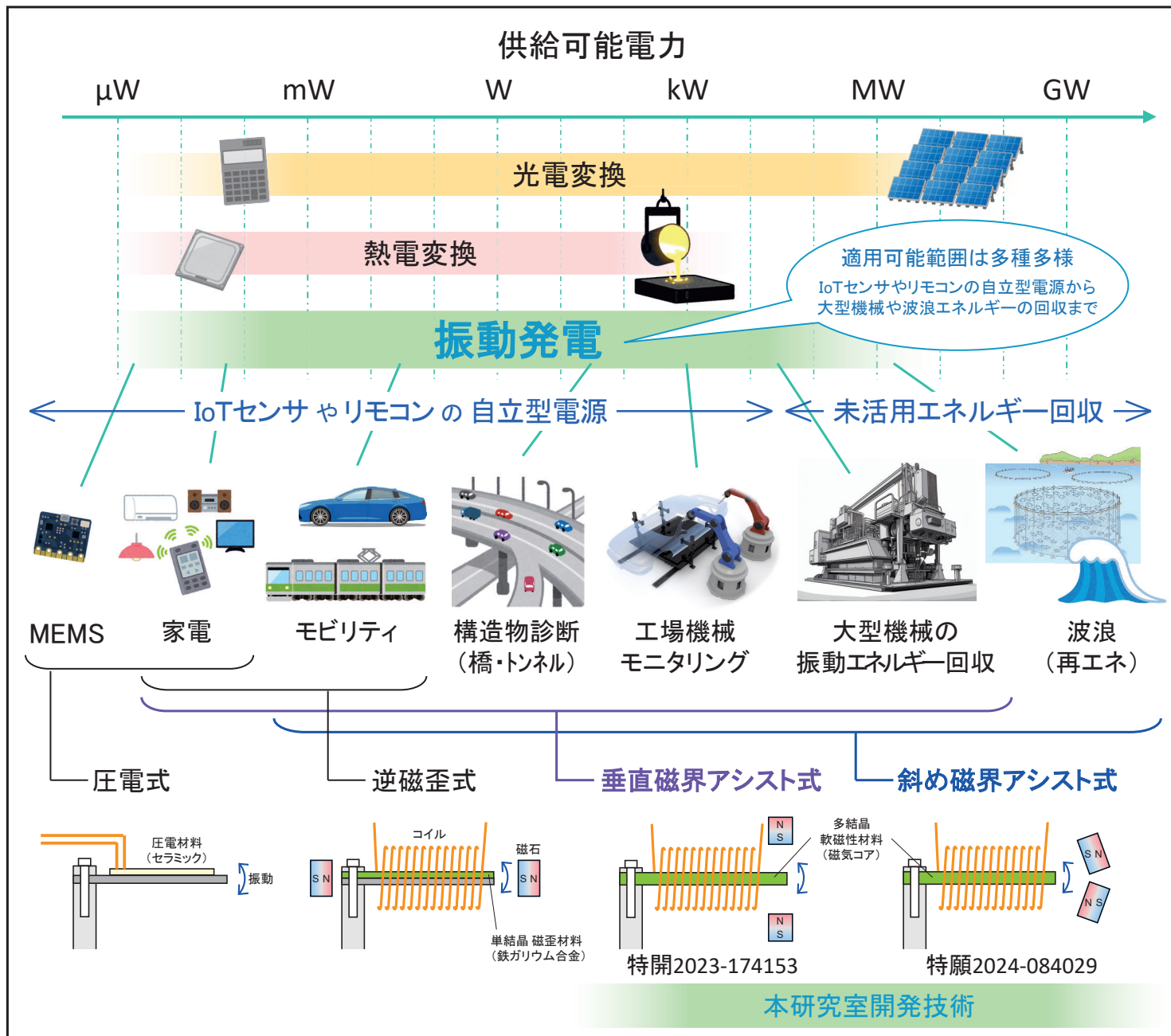


磁気コアを活用した電磁誘導型振動発電デバイス

～ 新原理：垂直磁界アシスト式 および 斜め磁界アシスト式 ～

1. 振動発電の供給可能電力と適用可能範囲



企業様へのメッセージ

機械、材料、電気電子などの分野の企業様との共同研究により、
実用化・普及に繋げて行くことを目標にしています

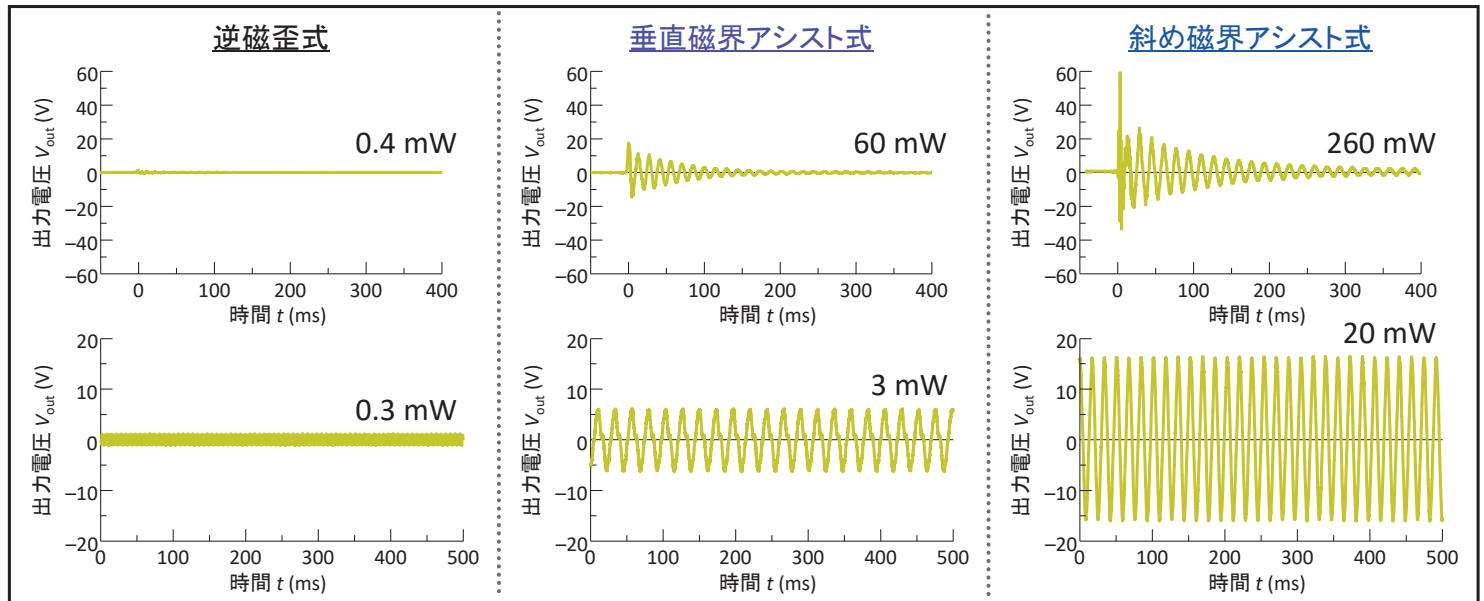
研究者・連絡先

研究者：横浜国立大学 大学院工学研究院 准教授 大竹 充
連絡先：研究推進機構 産学官連携支援室
(電話) 045-339-4447 (E-mail) sangaku.sangaku@ynu.ac.jp

2. 開発デバイスの優位性：高出力・シンプル・低コスト

	圧電	逆磁歪	垂直磁界アシスト	斜め磁界アシスト
出力	△ 内部抵抗：大 サイズ：小	△ 内部抵抗：小 サイズ：小～中	○ 内部抵抗：小 サイズ：小～大	◎ 内部抵抗：小 サイズ：中～大
耐熱性	△	○	○	○
耐久性	△ 割れやすい	○	○	○
製造容易性	○	△	○	○
コスト	○	△ 単結晶・配向材料が必要	○	○

3. 出力特性の一例（同一条件で比較）



4. デバイスの基本原理

